

…帰りの会で行う「よいこと見つけ」というものがあります。その視点を学級目標にします。見つけたよさは、何らかの形で残すようにしていきます。学級目標をよりよい学級づくりの価値として位置づけることが大切です。

ちなみに、以前の学級目標は「すまいる」でしたので、帰りの会のプログラムに「今日のすまいる君」というのができました。ここでは、その日を振り返って、学級目標達成に貢献した人が紹介されました。

その3 学級目標を形に

…目標達成パーティ、イベントのネーミング、学級の歴史づくり、学級の歌などで学級目標を意識させることも行います。

学級の旗を作るというのもいい手ですね。

その4 学級目標とマスコット

…学級目標をマスコット化します。いろいろなバリエーションを考えさせるのもおもしろいです。

黒板に貼るものを作ったり、マスコット人形を準備したり、授業で使うマークにしたり…などなどです。

◆学級目標をふりかえろう

…学級目標を子どもたちに意識づけさせるには、学級目標のふりかえりをさせることが大事です。アンケートをとる方法、自由記述で書かせる方法などがあります。そのためには、具体的な行動目標をつくらせておくことも大事なことです。

2 第11回希望の会in山口，山口学級活動ネットワーク冬の学習会報告 その7

冬の学習会，午後の部で行った「参加者が語り合う」ワークショップについて，続けて報告いたします。

今回は，実践課題の（7）～（9）を紹介します。話し合ったことをまとめたものは，山口学級活動ネットワークのホームページもしくは，希望の会のホームページに掲載していますので，そちらをご覧ください。

実践上の課題（7）

学級活動の内容として2学年ごとに分けた学級活動の内容が示されました。その中で，高学年では，「信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに，日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上…」と示されました。

そのような態度を育成するにはどのような活動を考えたらいいでしょうか。

高学年の学級活動では、「信頼し支え合って（人間関係）」「楽しく豊かな学級や学校の生活をつくり（生活づくり）」「自主的に取り組もう（社会参画・自治的能力）」という態度が求められています。

この内容では、「自分のよさを生かす」とともに、そのよさを「みんなで分かち合う」経験を積ませ、協力し合って「全校にはたらきかける」活動が大切であるということが見えてきたようです。

実践上の課題（８）

改善の基本方針の一つに、「自治的能力の育成を重視する」ことが示されました。そこで、児童会活動で自治的能力を育てるのはどのような指導（活動）が適していると考えられるでしょうか。

このテーマでの話し合いでは、児童会活動で自治的能力を育てるために、「どんな活動がよいか」ではなく、「どのように活動をつくっていくか」が大切ではないかということと、子どもたちに見通しをもたせるために経験を積み重ねることが大切ではないかということが多く意見として出されました。また、児童会活動の基盤として、学級での話し合い活動や係活動などを大切にしていこうということもポイントとしてあげられることが意見として出されました。

実践上の課題（９）

異年齢集団活動を重視することについて、「自分に自信がもてず、人間関係に不安を感じていたり、好ましい人間関係を築けず社会性の育成が不十分であったりする状況が見られたりすることから、それらにかかわる力を実践を通して高めるための体験活動や生活を改善する話し合い活動、多様な異年齢の子どもたちからなる集団による活動を一層重視する（学習指導要領の改善の基本方針）」と示されました。そこで、異年齢活動を重視するクラブ活動や児童会活動の進め方はどうしたらよいかを考えてみてください。

異年齢集団活動の充実も、この度の改訂で強調されたことです。ここでの話し合いでは、クラブでも児童会でも「小社会」としての組織にしていくことが大事だという意見が出されました。特に児童会活動では「自分たちの生活をつくる」というテーマを意識させて活動に取り組ませることが大切ではないかということ、低学年から高学年に向けて学びがつながる経験をさせることが大切であることが見えてきたようです。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第78号は5月下旬ごろ発行予定です。

次号も、第一特集は「元気が出る学級づくり」について、第二特集では「冬の学習会」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は243名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

=====